

単元計画 (総時数 10 時限)

時	学習課題・学習問題とまとめ	評価規準
第一 次 ③	<p>範読、新出漢字、初発の感想 (分かったこと、思ったこと、ふしぎなこと)、段落打ち、 文番号打ち</p>	<p>関 進んで一人学習をしようとする (ノート、観察)</p>
	<p>初発の感想発表・全文概観・読みのめあて ②</p> <p>①～②段落は、問いの段落で、③～④段落は、イソギンチャクとクマノミ、ホンソメワケベラと大きな魚のことがいろいろ書いてあり、ふしぎなこともあった 「どんな生き物たちが、どんなかかわり合いをしてくれているのか」 問いの答えを読み取る</p>	<p>読・知 大まかな文章構成をつかみ、読みのめあてが分かる (発言、観察)</p>
	<p><③④段落のイとクはどんな生き物か></p> <p>①には、細長い触手がたくさんある 触手には毒の針がついている この針で小さな動物をつかまえて食べている</p> <p>②は、①の触手の間にいるきれいなオレンジ色の魚 体がねばねばしたえきでおおわれているので、①にさされない</p>	<p>読・思 「たいへんなこと」や逆接「でも」等に注目しながら、イと、クの体の特徴を読み取る (発言、ノート)</p>
第二 次 ④	<p>本時 <イとクは、どんなかかわり合いをしているのか></p> <p>イとクはたがいにまもり合っていると分かった それは、イは毒針でクを食べにくる大きな魚からクをまもり、クは音を立てておいはらうことでイを食べにくる小さな魚からイをまもっているから</p>	<p>読・思 接続語、指示語や主述の関係に気をつけて、たがいにまもり合っていることを読み取る (発言、ノート)</p>
	<p><ホと大きな魚は、どんなかかわり合いをしているのか></p> <p>たがいに役に立つようにかかわり合っていると分かった それは、大きな魚は、ホに体や口の中をきれいに掃除してもらう ホはそのお返しに、掃除してとった虫を食べ物としてもらうから</p>	<p>読・思 主述の関係や逆接「でも」などに注意して、たがいに役に立つかかわり合いをしていることを読み取る (発言、ノート、観察)</p>
	<p>問いの答えとまとめ</p> <p>サンゴの海では、生き物たちがたがいに守り合ったり、役に立つようにかかわり合っていた そして、問いの説明を⑩段落の「このように」でまとめている その他にもどんな生き物たちが、どのようにかかわり合っているのか調べてみたい</p>	<p>読・知 全体の構成や⑩段落の接続語の働きが分かる (ノート、観察)</p>
第三 次 ③	<p>調べよう 「サンゴの海の生き物たちのかかわり合い」</p> <p>「たがいに〇〇〇する●と●」絵図カード作り ②</p> <p>たがいにどのようにかかわり合っているかを 絵図や文に表わすことができた 友達のカードを読むのが楽しみだ</p>	<p>関 生き物たちのかかわり合いの様子を進んで調べようとする (観察)</p> <p>書・技 主述の関係に気をつけて双方のかかわりの様子を簡単な絵図や文にまとめることができる (カード)</p>